

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	工学基礎演習第二		
英文授業科目名	Engineering Fundamentals II		
開講年度	2005年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	清水 和子		
居室	東6-608		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shimizu@pc.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
工学基礎演習第1の内容で修得不十分なところを復習するとともに、工学基礎としての数学を、特に力学や電磁気学との関連を重視した演習を通して身につけることを目標とする。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
力学第1、工学基礎演習第1

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
上

<b>【教科書等】</b>
力学第1の教科書「な－るほど！の力学」を参照する。 力学教科書として「な－るほど！の力学」が少し難しいと思う人には、「基礎力学」中山正敏著、裳華房がおすすめ。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
次の各項目について十分な時間をとって演習の形で進める。 (1) ベクトル演算 (2) 直交座標系の運動方程式 (3) 2階線形微分方程式(自由落下、単振動、減衰振動等) (4) テイラー展開 (5) 平面極座標での運動方程式 (6) 仕事とポテンシャルエネルギー

(7) 角運動量

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

3回の中間試験・期末試験および演習・宿題の結果を、次のように総合評価する。

成績評価 演習・宿題 10%

中間試験・期末試験 計4回あわせて90%

(b) 評価基準：

単位取得には上記評価法により60%以上の得点が必要である。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じる。

【学生へのメッセージ】

\* 講義を理解するためには、自分で問題を解いてみることが重要です。そのためには考え方を理解しなければなりませんし、計算が出来なければなりません。積極的に問題を解きましょう。

【その他】